

歳出の概要

目的別経費の状況

(単位：千円)

款	平成20年度予算額	平成19年度予算額	比較	構成比 %	増減率 %
1. 議会費	424,950	424,787	163	1.0	0.0
2. 総務費	5,427,895	5,843,203	415,308	12.4	7.1
3. 民生費	11,545,356	11,397,391	147,965	26.4	1.3
4. 衛生費	3,653,001	3,797,742	144,741	8.3	3.8
5. 労働費	34,798	36,873	2,075	0.1	5.6
6. 農林水産業費	112,386	107,720	4,666	0.3	4.3
7. 商工費	594,441	497,877	96,564	1.4	19.4
8. 土木費	6,994,159	6,469,760	524,399	16.0	8.1
9. 消防費	2,100,724	2,382,522	281,798	4.8	11.8
10. 教育費	7,439,932	7,018,293	421,639	17.0	6.0
11. 公債費	4,896,810	4,468,438	428,372	11.2	9.6
12. 諸支出金	415,548	375,394	40,154	0.9	10.7
13. 予備費	100,000	100,000	0	0.2	0.0
合計	43,740,000	42,920,000	820,000	100.0	1.9

【主な増減理由】

総務費 415,308千円の減

主な減少要因は、退職手当（428,589千円）、京成津田沼駅バリアフリー化整備事業（44,885千円）、新津田沼駅バリアフリー化整備事業（47,400千円）、市長・市議会議員選挙（77,432千円）です。

一方、主な増加要因は、京成津田沼駅南口バリアフリー化整備事業（104,454千円）、新習志野駅バリアフリー化整備事業（49,000千円）、徴収事務費（76,138千円）です。

民生費 147,965千円の増

主な増加要因は、千葉県後期高齢者医療広域連合負担金（621,372千円）、後期高齢者医療特別会計繰出金（174,159千円）、介護保険特別会計繰出金（70,147千円）、中国残留邦人生活支援給付事業（43,862千円）、若松保育所改築設計事業（18,410千円）です。

一方、主な減少要因は、職員給与費（161,286千円）、国民健康保険特別会計繰出金（69,027千円）、老人保健特別会計繰出金（565,813千円）です。

衛生費 144,741千円の減

主な減少要因は、職員給与費（53,038千円）、健康診査（168,953千円）、茜浜一般廃棄物最終処分場用地管理事業（31,094千円）です。

一方、主な増加要因は、母子健康診査事業（32,919千円）、後期高齢者健康診査事業（36,865千円）、芝園清掃工場運営費（46,309千円）です。

商工費 96,564千円の増

主な増加要因は、中小企業振興事業（108,033千円）です。

土木費 524,399千円の増

主な増加要因は、市道00-109号線踏切改良事業（137,000千円）、JR津田沼駅北口ペDESTリアンデッキ改良事業（72,000千円）、鷺沼中央跨線橋耐震対策事業（135,000千円）、JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業（275,625千円）、3・3・1号線整備事業（77,114千円）、近隣（防災）公園整備事業（175,950千円）です。

一方、主な減少要因は、公共下水道事業特別会計繰出金（ 287,466 千円）、津田沼第二跨線橋歩道整備事業（ 37,000 千円）です。

消防費 281,798 千円の減

主な減少要因は、職員給与費（ 95,974 千円）、高機能消防指令センター総合整備事業（ 388,256 千円）です。

一方、主な増加要因は、消防車両等整備事業（ 229,944 千円）です。

教育費 421,639 千円の増

主な増加要因は、特別支援教育推進事業（ 77,366 千円）、小学校大規模改造事業（ 220,504 千円）、第一中学校給食室新築事業（ 70,005 千円）、高等学校施設整備事業（ 97,624 千円）、高等学校防災対策事業（ 201,560 千円）、放課後児童会施設整備事業（ 34,200 千円）です。

一方、主な減少要因は、吹付アスベスト等含有製品対策及び耐震補強事業（ 203,105 千円）、第二中学校増築事業（ 92,600 千円）です。

性質別経費の状況

(単位:千円)

区 分	平成 20 年度				平成19年度		比 較	
	予算額 A	構成比 %	予算額の財源内訳		予算額 B	構成比 %	増減額 (A - B) = C	増減率 (C/B)%
			特定財源	一般財源				
1 人 件 費	11,652,467	26.6	1,241,930	10,410,537	12,398,818	28.9	746,351	6.0
2 物 件 費	9,169,855	21.0	2,046,949	7,122,906	9,133,705	21.3	36,150	0.4
3 維 持 補 修 費	203,433	0.4	5,000	198,433	221,173	0.5	17,740	8.0
4 扶 助 費	4,926,565	11.3	3,120,055	1,806,510	4,851,744	11.3	74,821	1.5
5 補 助 費 等	1,868,015	4.3	93,769	1,774,246	1,229,129	2.9	638,886	52.0
6 公 債 費	4,893,448	11.2	525,473	4,367,975	4,466,137	10.4	427,311	9.6
7 普通建設事業費	5,270,322	12.0	3,206,462	2,063,860	4,178,578	9.7	1,091,744	26.1
うち事業費支弁人件費	175,677	0.4	18,724	156,953	139,286	0.3	36,391	26.1
内補 助	1,622,708	3.7	1,472,416	150,292	761,770	1.8	860,938	113.0
訳単 独	3,647,614	8.3	1,734,046	1,913,568	3,416,808	7.9	230,806	6.8
8 積 立 金	484,185	1.1	334,185	150,000	439,404	1.0	44,781	10.2
9 投 資 ・ 出 資 金	26,125	0.1	6,900	19,225	23,337	0.1	2,788	11.9
10 貸 付 金	425,000	1.0	425,000	0	325,000	0.8	100,000	30.8
11 繰 出 金	4,720,585	10.8	193,403	4,527,182	5,552,975	12.9	832,390	15.0
12 予 備 費	100,000	0.2	0	100,000	100,000	0.2	0	0.0
歳 出 合 計	43,740,000	100.0	11,199,126	32,540,874	42,920,000	100.0	820,000	1.9
投資的経費	5,270,322	12.0	3,206,462	2,063,860	4,178,578	9.7	1,091,744	26.1
経常的経費	35,640,392	81.5	7,226,579	28,413,813	35,800,087	83.4	159,695	0.4
義務的経費(1+4+6)	21,472,480	49.1	4,887,458	16,585,022	21,716,699	50.6	244,219	1.1
事業費支弁分を含む人件費	11,828,144	27.0	1,260,654	10,567,490	12,538,104	29.2	709,960	5.7

(注) 経常的経費合計には国民健康保険特別会計繰出金、公共下水道事業特別会計繰出金、老人保健特別会計繰出金及び介護保険特別会計繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金の一部を含む。

事業費支弁人件費とは...普通建設事業の執行に必要な事務に係る人件費のことで、普通建設事業費の規模に応じて算出する。

平成 19、20 年度ともに、臨時的任用職員に係る人件費は物件費に振り替えております。